

令和4年度 あおもりフィールドスタディ支援事業

# あおもり文化芸術支援事業 成果報告書

青森中央学院大学 学生チーム「自己肯定感向上委員会」

## ～我々の団体について～

青森中央学院大学の3, 4年生からなる団体です。  
中高生に、青森の歴史的芸術文化について学び、  
興味関心を持ってもらいたいと思い、この団体を結成しました。  
市内の高校生が文化芸術に触れることで、より興味を持ち、  
趣味の一環として継承していってくださることを期待して事業を  
進めていました。

# 1. 本事業で取り組む課題

- **コロナ禍**で地域の文化芸術を学ぶ場、表現する場が**減少**
- 青森の文化芸術資源の継承

## 2. 事業目的

〈課題〉 コロナ禍で文化芸術に触れる場が減少  
青森の歴史的文化・芸術の継承



青森の文化に触れる機会が少なかった中高生を対象に、  
その魅力や価値について学ぶ機会を提供  
& 中高生が主体となってワークショップの企画運営



歴史的文化芸術の継承と、  
中高生の地元への愛着を深める

## 4. 活動スケジュール

8月中旬～

◇Instagramの開設

- ・「あおもり芸術文化支援プロジェクト」という名で運営。
- ・フォロワー現在91人

9月中旬～

◇メンバー内ミーティング（2回）

- ・ワークショップの内容、実施日、実施時間、当日の役割分担を決定

◇ねぶたワークショップの講師・工藤さんに依頼

- ・作るねぶたのデザイン、予算と材料費を決定
- ・ねぶたワークショップのチラシ制作

10月中旬～

◇ねぶたワークショップの実施

- ・参加者合計7人

◇ワークショップの様子をInstagramに投稿

### 3. 主な活動内容

〈ご協力いただいた方〉

ねぶた造形作家の工藤友哉さん

〈ワークショップを開催〉

- ・ 中高生を対象としたねぶたワークショップの開催
- ・ Instagramの運用

### 3. 主な活動内容

チラシを作成し  
Instagramにて  
参加者を募集！

高校生  
スキル  
アップ UP

# ねぶたづくり ワークショップ

参加  
無料

日時  
**10月16日(日)**  
9:30~16:30(休憩1時間)

募集対象者  
青森市内の高校生  
(定員10名)

講師  
造形作家 工藤友哉さん

会場  
青森中央学院大学  
1号館3階 132演習室  
(青森市大字横内字神田12)

応募方法は、こちらの  
インスタアカウントを  
フォローし、DMで  
ご連絡ください！

主催：自己肯定感向上委員会（青森中央学院大学）  
お問い合わせ：自己肯定感向上委員会  
TEL：080-5338-7751（代表 田澤）  
Mail：21911091st@aomori.kgs.ac.jp（代表 田澤）

【あomorい芸術文化支援プロジェクト】  
@aomor\_i\_gbsienn

あomorいフィールドスタディ支援事業

Aomori  
文化・芸術

6 投稿 91 フォロワー 104 フォロー中

【あomorい芸術文化支援プロジェクト】 / 学生団体  
＼文化的視点から、街を豊かに／  
青森文化の魅力をみなさんにお届けします。  
イベントの情報やプロジェクトの活動について更新してい  
きます 続きを読む

プロフィールを編集 プロフィールをシェア +

【第1弾】 新規

ねぶたづくり  
ワークショップ

募集対象者  
拡大決定！！

ねぶたづくり  
ワークショップ

【募集方法】



## ～作業風景～

- ◇高校生参加者は1名  
→応募者が少なかったため、  
参加対象者に子連れの家族も含めて再応募。
- ◇合計で7名が参加。  
→参加者は、真剣に説明を聞いた後、  
楽しみながら作業を進めていた様子。





## 5. 収支決算

〈収入〉

(単位：円)

区分	決算額	摘要
市補助金額	72,000	令和4年度あおもりフィールドスタディ支援事業補助金
その他(自己負担)	19,100	
合計	91,100	

〈支出〉

(単位：円)

科目	決算額	内訳		摘要
		自己負担	補助金	
事務費	1,100	100	1,000	消耗品
原材料費	70,000	0	70,000	ねぶた作りの材料費
報償費	20,000	19,000	1,000	作成指導者謝礼
合計	91,100	19,100	72,000	

## 6. 事業成果

○Instagramのフォロワーを**93人獲得**した。

→ねぶたを作る楽しさを県民に発信することができた。

○ねぶたのランプという、日常的に使いやすい作品にしたことで、

ねぶたが**身近なもので、自分でも作れる**ということを伝えることができた。

→ねぶたを作る楽しさを体験させることができた。

## 7. 総評

### 〈反省点と改善点〉

○**集客**が弱かった。

→Instagramで募集をしたが、高校生の目に付きにくい。

改善点) ・ 集客時期が遅かった。

・ より多くの学校にチラシを配布すべき。

・ どんなねぶたを作成するのがわかりにくいチラシだったため、  
より明確な情報を記載すべき。

○**実施時間**が長すぎた。

→拘束時間が長すぎると、参加意欲が薄れることが考えられる。

改善点) 簡単にできる作品を選ぶべき。

## 7. 総評

### 〈良かったこと、学んだこと〉

- 参加者が作業に夢中になりながら楽しんでいた。
- 「ランプ」という日常で使いやすい作品であったため、思い出になる。
- 開催時期を夏休み中の8月にすると、参加者も増えるかもしれない。  
(→参加者アンケートの意見より)
- 普段経験しないことをすることで、新たな趣味を開拓する機会になるかもしれない。

集客により力を入れて参加者を増やせば、多くの中高生が青森の芸術文化に興味・関心を持つことが期待できると考えられる。